

年度評価シート

課名 中山間地振興課

施設の名称 賤機都市山村交流センター	指定管理者名 賤機都市山村交流センター運営委員会
<p>1 履行状況</p> <p>業務仕様書及び事業計画書に従って概ね適切に履行されている。</p> <p>(1) 維持管理業務</p> <p>管理業務を実施し、植栽、除草、清掃等について職員にて実施するとともに、空調設備点検業務等について第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って、状況に応じて市と協議を行いながら適切に行われている。</p> <p>(2) 施設利用者数</p> <p>令和3年度の利用者数は36,253人で前年度(令和2年度)の21,968人と比較して65.0%の増加となった。館内会食禁止や8月下旬～9月末日までの全面休館があったものの、感染拡大防止策をしたうえで、イベントを再開し、丁寧な対応を心掛けていたためであると考えられる。なお、前々年度(平成31年度)の67,879人と比較すると46.6%の減少であり、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には届いていない。</p> <p>(3) 事業実施状況</p> <p>積極的な新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、施設の設置目的である、都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図るために、各種講座、イベント、パネル展示等を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流講座等の実施 <p>本格キムチづくり等の地域紹介講座、ワサビの収穫と鉢植え等の農林業体験講座、ソーセージづくり等の地元講師による講座等を、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも32回実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催 <p>春・夏・秋それぞれわくわく祭りを開催し、延べ8日間、約1,540人が参加した。</p> <p>その他、試験的にABERIVERミニ四駆チャレンジとして1日開催し、約120人が参加した。</p>	
<p>2 市民(利用者)からの意見・要望の内容とその対応状況の評価(クレーム対応等)</p> <p>・特に重大な意見・要望はないが、利用者からの意見・要望があった際は、可能な限り迅速に対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果、要望等については、定例の運営委員会開催時に報告を行っている。 ・令和2年度から休止している集会室Bでのバレーボールや卓球の再開を希望する声があったため、令和3年度は卓球のみを再開。バレーボールや幼児向け遊具の貸し出しについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、引き続き休止しているが、来館者に説明して理解を得ている。 ・講座についても苦情はなく、非常に好評であった。利用者からの要望を受けて、令和3 	

年度は新規に「防災パン作り」「クラフトテープで羽子板づくり」等を企画・実施した。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

- ・施設の印象は「良い」「やや良い」が99.％、従業員の態度は「良い」「やや良い」が98％であり、良好な施設運営が継続して行われていることが分かる。
- ・講座受講者からは「楽しかった」「良かった」との声があった。受講者は60～70代が全体の70％と最も多く、高齢者の生きがいづくりの場として大いに利用されている。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務の収支状況については、感染症対策の影響により光熱水費や講座費が減少となり、空気清浄機等、備品購入費が増加となったが、概ね予算どおりの執行となった。

経理全般に関しては税理士事務所と提携しており、また、経理事務に関して新たにソフトを導入するなど改善を図り、適正な経理が行われている。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

オクシズ地域の玄関口に立地していることを意識した施設運営を行っており、オクシズの各地区と連携して、観光情報、イベント情報などを積極的に収集、発信するとともに、ロビーの展示コーナーを活用して「アサギマダラ写真展」等々を実施してオクシズの魅力を紹介している。

コロナ禍において公園遊具の除菌作業を毎日行い、利用者の安心安全に努めている。

講座については、人気講座を継続して実施しつつ新規講座も複数行い、イベントについても創意工夫して実施し、施設の設置目的である都市住民と中山間地域住民の交流促進に努めており、施設運営は適切に行われたと考える。

今後も、オクシズの各地区と連携した運営により、施設の設置目的である都市住民と中山間地域住民の交流の促進を図られることを望む。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。